



2020年3月9日

受益者様ご各位

ファイブスター投信投資顧問株式会社

「MASAMITSU日本株戦略ファンド」の基準価額下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日「MASAMITSU日本株戦略ファンド」の基準価額が、2020年3月6日の基準価額に比べ-5.46%下落いたしました。この下落の要因と今後の展望に関しましてご報告いたします。

敬具

記

ファンド名	3月6日 基準価額	3月9日 基準価額	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
MASAMITSU日本株 戦略ファンド	13,763 円	13,012 円	▲751 円	▲5.46%

本日、「MASAMITSU日本株戦略ファンド」の基準価額が-5.46%下落しました。外部環境としては、TOPIX-5.6%、日経平均株価-5.1%、東証マザーズ指数-9.75%と、日本株が大幅下落となり、その影響を受けた形になりました。

日本株大幅下落の要因は新型コロナウイルスの世界的拡散に尽きます。中国で発生した同ウイルスが、日本を含む東アジアのみならず、欧州、中東、米国に拡散し、患者数や死者数の増加が続いております。それを受けて、世界的に株価が弱含みの推移を続けております。

同ウイルスについては、①潜伏期間が2週間程度と長い、②陰性になった患者が再陽性化するケースがある、③軽症者でも肺に何らかの異変が表れる可能性が高い、④他のウイルスのように気温上昇や湿度上昇で威力が落ちるかが明らかでない、などの深刻な特徴があります。したがって、SARS（重症急性呼吸器症候群）などの過去のウイルス・細菌との比較では、事態を過小



ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2266 号
一般社団法人投資信託協会 加入
一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

評価する可能性があると思われま

弊社では、中国で、徹底的な隔離政策を通じて、同ウィルスの拡大封じ込めに概ね成功した姿を横目に、株価が一定の水準(例えば、日経平均株価 20,000 円、TOPIX で PBR1 倍の 1,420pt)に到達すれば、下値リスクは極小化すると見ていましたが、株価はその水準を本日突破し、更なる下落を続けております。その意味では、短期的な株価の目途を見極めづらく、今後も当面は、保守的な運用が望ましいと考えております。一方で、これまでの株価の急落を考慮すると、何らかのポジティブ要因が出てきた場合には、株価の急騰の可能性も否定できません。

本ファンドの、指数先物でのヘッジを含めた実質的なキャッシュ比率は、現段階で 20%を超えておりますが、今後も世界的な金融市場の動向を見据えた上で、キャッシュ比率の柔軟な拡張を通じて、リターンの極大化に全力を尽くして参ります。

以上